

平成23年7月15日（金）

愛知県企業庁水道事業課 浄水・水質グループ
工水維持グループ

担当：宇野、平野 内線：5642、5643
ダイヤルイン 052-954-6683

愛知県企業庁の管理する浄水場から発生する浄水発生土の 放射性物質の測定結果について

愛知県企業庁の管理する浄水場から発生する浄水発生土^{※1}について、放射性物質濃度を測定したところ、国が示した「放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方について」による処分等にかかる指標値を大きく下回っておりました。

また、国が示した「放射性物質が検出された浄水発生土の当面の取扱いに関する考え方について」による再利用にかかる指標値も下回っておりました。

※1 浄水場発生土とは、浄水場において水処理過程で取り除かれた濁り成分などの沈でん物を脱水したもの

1. 調査概要

調査対象 愛知県企業庁が管理する浄水場から発生する浄水発生土
調査項目 放射性ヨウ素（ヨウ素-131）
放射性セシウム（セシウム-134及びセシウム-137）
測定方法 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー
測定日 平成23年7月13日

2. 測定結果

単位：Bq/kg

浄水場名 (所在地)	脱水方式	試料採取日	放射性ヨウ素	放射性セシウム ^{※2}
犬山浄水場 (犬山市)	機械脱水	7月6日	不検出 ^{※3}	不検出
尾張西部浄水場 (稲沢市)	機械脱水	7月6日	不検出	不検出
高蔵寺浄水場 (春日井市)	機械脱水	7月8日	不検出	不検出
尾張東部浄水場 (日進市)	機械脱水	7月8日	不検出	不検出
上野浄水場 (東海市)	機械脱水	7月8日	不検出	不検出

知多浄水場 (知多市)	機械脱水	7月8日	不検出	不検出
豊田浄水場 (豊田市)	機械脱水	7月8日	不検出	不検出
幸田浄水場 (額田郡)	機械脱水	7月6日	不検出	不検出
安城浄水場 (安城市)	機械脱水	7月6日	不検出	10
豊橋浄水場 (豊橋市)	機械脱水	7月6日	不検出	54
豊川浄水場 (豊川市)	機械脱水	7月6日	不検出	29
豊橋南部浄水場 (豊橋市)	天日乾燥	7月6日	不検出	71
蒲郡浄水場 (蒲郡市)	天日乾燥	7月6日	不検出	18

※2 放射性セシウムは134・137の合計値

※3 不検出は10 Bq/kg 未満

水道水については、愛知県が取水する4水系（木曾川、長良川、矢作川、豊川）を代表する4浄水場（犬山、知多、豊田、豊橋）で3月28日から週1回、放射性物質（放射性ヨウ素、放射性セシウム）の測定を行っておりますが、現在まで検出されておられません。

【参考】

○「放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方について」(抜粋)(平成23年6月16日 原子力災害対策本部)

- ・放射性セシウム濃度が8,000 Bq/kg 以下の場合、防水対策等をし、跡地を居住や農地に使わなければ埋立処分が可能。

○「放射能汚染された食品の取扱いについて」(抜粋)

(平成23年3月17日 厚生労働省医薬食品局食品安全部長)

飲食物摂取制限に関する指標

単位：Bq/kg

放射性ヨウ素		放射性セシウム	
飲料水・牛乳・乳製品	300	飲料水・牛乳・乳製品	200
野菜類(根菜・芋類を除く)	2,000	野菜類・穀類・肉等	500

○「肥料に利用する放射性物質を含む汚泥の取扱いについて」(抜粋)

(平成23年6月24日 農林水産省消費・安全局)

- ・汚泥中の放射性セシウム濃度が200 Bq/kg 以下の場合については、汚泥肥料の原料として利用できる。

○「放射性物質が検出された浄水発生土の当面の取扱いに関する考え方について」

(抜粋)(平成23年6月16日 厚生労働省)

- ・浄水発生土を再利用して生産する物は、クリアランスレベル(放射性セシウム濃度100 Bq/kg) 以下であれば利用しても差し支えない。